

# KakogawaRiyo-News

加古川理容 ニュース

ホームページ: <http://kakogawa-riyo.com>  
メール: [info@kakogawa-riyo.com](mailto:info@kakogawa-riyo.com)

## 加古川理美容合同講魔会

令和初の理美容合同講習が8月5日、酷暑の中開催されました。  
『カット以外も見てみたい!』との美容組合さんからの要望もあり、今回はシェービングと癒しを取り入れた内容でおこないました。  
エステと言えどもやはりこのお方!  
講師は我が加古川支部より西田尚美講師に来ていただきました!  
近年花火大会には多数の方々が観に行かれていて、特に浴衣で行かれていく女性も多いそうです。  
まずはアップしたヘアスタイルに似合う襟刺りの実演から講習がスタートしました。  
泡を乗せるように塗布、柔らかいタッチでの剃刀の運行。襟の理想の形、後れ毛への考え方、お客様の満足度を上げるためにコミュニケーションの重要性など、受講された方々が食い入るように見られていました。

次は眉カットの実演。モデルさんへの実演の前にホワイトボードで理想の眉毛の形の案内を。黄金比率と言われる眉毛ランス。老けて見えるバランス。若く見えるバランス、ほんの少しバランスを変えるだけでその人の印象を変えることの出来る眉毛。『眉毛でその人の人生は変わる!』西田講師が受けられた講習で聞かれた言葉だそうです。

眉カットの実演では、マッサージでツボを押さえ、血流を流し、在るべき場所にお肌を戻してから眉毛を整えていました。モデルになっていただいた美容組合の方も『ホントに気持ち良かった!』

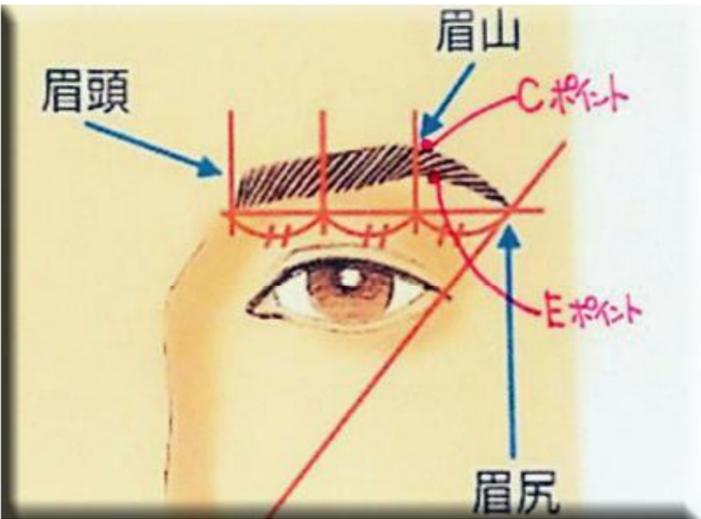


お家でもやらなきゃ!』と感想を述べられていました。  
お客様自身ではなかなか上手にできない眉毛、日々お顔剃りをする私達がお客様にして差し上げられる事がまだ他にありそうですね。

今回の講習、西田講師の軽快なトークと熟練の技術で参加者皆さんとの一体感がすごく感じられ、時間もあっという間に過ぎていきました。参加者さんの感想も『久しぶりに良い講習だった』『来て良かった!』『一緒に来ていた嫁さんも喜んでた!』等々多数嬉しい感想をいただきました。

お客様の要望に応えるのが一番だが、プロとしてのアドバイスは必須、西田講師の言葉に理容師としてこれからの進む姿を教えてもらえました。西田講師、ありがとうございます。そして、暑い中、ご参加いただいた皆さまありがとうございます。

教育部長 山崎 裕史



### 「似合わせ眉」の提案

- 眉頭・・・小鼻の内側と小鼻の外側の延長線の間
- 眉山・・・黒目の外側と目尻の延長線との間
- 眉尻・・・目尻の延長線と小鼻と目尻を結んだ延長線の間

基本的な眉毛の黄金比ですが、時代や性別によって様々に変化します。  
その時代の流行によって長くなったり短くなったり、太くなったり細くなったり  
お客様の年代別の好みに応じたものをベースにご提案できるといいですね!

カットやパーマの講習も、勿論面白いのですが、こういう講習もいいですね!  
カットやパーマの場合はついお客さんを選んでしまいますが、マッサージは別で、来店頂いたお客様さんほぼ全てに感じて貰えると思います。  
山崎教育長から最後の肩のマッサージの部分が美容さんとの打ち合わせで観られなかったのが感想をお願いします。とバトンを渡されたので、続きを山岡が書かせて頂きます。



『眉毛カットのマッサージ』の時に思ったのですが、実際目の前で見るのと本や資料で読むのとは違いますね、それに気軽に質問や疑問に答えて頂けるので。肩周りのマッサージは普段の仕事に簡単にプラス出来る内容でした。  
た。ついついシャンプーからの流れ作業的になりそうなマッサージに喝を入れてもらう効果もありましたし(苦笑)  
肩、眉の時もそうでしたが、軽く滑らすのではなく『しっかり筋肉を掴む』ことが大事。しっかりと掴んで動かすことにより筋力がほぐれ血流やリンパ液の流れが良くなります。その結果、お客さんが気持ちいいと感じてくれるば対価が発生します。  
お顔剃りやマッサージなんかは特にお客さんが寝てしまう仕事をしたいです。  
西田先生、とてもためになる講習ありがとうございました。そして役員の皆様もお疲れ様でした! いつもの会場ではなく少し狭かったですが、その分とても近くまで寄って見られたのも今回の講習に関しましては良かったですね。

広報部長 山岡 秀二

### 介護美容総会

第十八回加古川訪問美容サ  
ビス総会を終えて  
令和元年  
6月10日  
に播磨町  
中央公民  
館、第5  
会議室に  
おいて、  
訪問美容  
容の総会  
を行いました。  
支  
部長はじ  
め、副支  
部長、総  
務部長、  
登録店の  
皆様、ご出  
席ありがとうございました。各市  
町担当課、市町議会議員、美容組  
合の支部長副支部長を交え、いろ



今後の課題として  
は、美容組合の副  
支部長から提案さ  
れた「訪問美容料  
金の値上げについ  
て」となりました  
ので、料金に関し  
てのご意見ご要望  
をお聞かせくださ  
い。  
今後の訪問美容が  
未来ある事業にな  
りますように今後  
ともよろしくお願  
いいたします。

訪問美容サビス  
部部長  
西田尚美

いろいろな意見交換が出来たと思いま  
す。

### 2019年度 播磨学園ソフトボール大会

7月9日社会を明るくする運動強化月間の一  
環としてのソフトボール大会が開催されまし  
た。昭和59年から今年で35年目、未来を支え  
てくれるであろう園生  
の更生を信じてこ  
こまで続けてこ  
れました。本当  
に皆さんのおか  
げです。ありが  
とうございま  
す。

当日の朝はいつ  
も8時15分に明  
日香宗佐店で集  
合し、試合後の  
園生への激励の  
言葉、支部の新  
聞の原稿書きを  
アミダくじで決  
めるのが恒例と  
なっています。  
(今回は荒木君  
と難波に決ま  
りました) 9時



過ぎ明日香を出発。小嶋君が道を間違  
少し遅れるハプニングがありましたが無事  
着。9時45分開会式、10時プレーボールとな  
りました。  
先制したのは加古川野球部。しかし3回、園

「試合を通して感じた他者への思いやりの大  
切さを大事に頑張りましょう」と激励の言葉。  
その後皆で記念撮影。お疲れ様でした。  
加古川野球部監督  
難波 学

### 2019年度 東播野球大会

6月3日、三木ともえ球場にて東播野球大会が開催されまし  
た。

1週間前の5月26日には北海道佐呂間町で、5度を記  
録。体温を上回るような危険な暑さが東播大会の  
日まで続くであろうという週間天気予報。熱中  
症の心配がありました。迎えた大会当日は昨日  
までの暑さに比べれば、少しマシなような天  
気でほっと一息。

9時になり開会式。宮城理事長はじめ各支  
部の支部長様も来賓として参加してくださ  
いました。もちろん我が山崎支部長も駆け  
つけてくださいました(グランド間違いの  
ハプニングがありました) 誠に申し訳ありませんで  
した。もちろん時間には間に合いましたよ  
(！) 前年度優勝の加古川野球部中谷主将  
より優勝旗返還、選手宣誓も加古川野球部  
代表。まるで令和初の東播大会優勝を感じさ  
せるかのような開会式でした。

ここで加古川の先発メンバーを紹介します。1  
番フアースト森本君(船曳君の友達)、2番ピッ  
チャー荒木君(1区)、3番センター船曳君(2区)、4  
番レフト河東君(1区)、5番キャッチャー神原君(船曳君、  
林田君の専門学校同期)、6番サード中谷君(4区)、7番



ショット入江さん(河東君のお客様)、8番セカンド小嶋君(2  
区 小嶋さんの弟)、9番ライト新阜さん(3区)、10番DH  
難波(4区)皆さんに支えられてのチームです。感  
謝感謝!(野球好きの方、いつでもお待ちしております  
ます。)  
初戦の相手は高砂、初回2アウト3塁の  
ピンチをなんとか荒木君がしのぐと1回  
裏2点、2回裏5点と打線が爆発!3回  
表にエラーもあり2点を失うもストレー  
トの制球、カーブの切れも良く危なげなく  
7対2で荒木君・神原君のバッテリーで勝  
利。この試合を最後まで見届けてくれた山  
崎支部長。勝利を届けることができて良  
かったです。支部長お疲れ様でした。  
次の試合の相手は明石と三木の混成チー  
ム。この試合に勝てば優勝。難波・中谷君  
のバッテリーで試合に臨む。2回を終えて  
1対2で1点のビハインド。「むっちゃええ  
試合やん」と小嶋君の声。でもええ試合  
はここまで。終わってみれば1対12と完敗(支  
部長が帰ってしまったからかな?)  
皆さんお疲れ様でした。くそ、勝ちたかったよ  
野球部監督 難波

### フライパンで炒める

夏の暑さが、元気がいっぱい遊んでいた。そんな中、盛り上がるだけが良いとは思わなかったが、盛り  
上らなかつた参議員選挙が終わり、日本の選挙も相変わらず、  
相手と他党の悪口のオンパレード、ある女性議員は「愚か者、恥知らず」何て言い出す始末。も  
う少し謙虚になれないものか。私達はいつの間にか多数を正義としていないか、一人を見失って  
いないか、議会制民主主義は単に「数」が多いだけではないか、説明と丁寧な議論を重ね、その「質」  
によって成り立つと思うのですが、底辺にいる小さな声を拾い上げて欲しい。江戸時代に佐藤一  
斎というオジさんが言っています。「春風をもって人に接し、秋霜をもって自ら慎む」  
私の知り合いに春風のような人がいます。あるスペクタルな団体のパブリック・リレーションズ  
部長をされています。趣味で焼き物をされています。焼き物といってもバーベキューですが、  
私はその方を「師匠」と呼ばせて頂き、師匠は私を「オイ君」と呼びます。  
先日、「オイ君、バーベキューは桜の木の下がいいぞ、毛虫だケムシ、あれを熱したフライパン  
で毛がパリパリと焼けた時にオリブオイルをさつと入れるん  
だ、そしてウエルダンで食する、良質の蛋白質により夏の疲れ、  
女性にはシミ・肌のタルミ、腰回りのブクブクなんかに実にイイ、  
良い子の皆様はまねをしない様に。そして山間部の遊びで注意す  
るのは「山ヒル」です。私も鹿ヶ壺でTシャツの上からしつこく  
血を吸われました。人を感じると木から落ちてくる、岩の上でク  
ネクネはセクシーだけど、やられると大変。師匠にお伺いをたて  
ると「なぜだか私も知らないが、女性が口をゆすいだ水でぬぐう  
と、山ヒルに吸われた血が止まって、きれいに拭き取れると、そ  
う教えられてね」「男がゆすいだ水ではだめなのですか?」「だめ  
らしいよ、私も一度試した事があるんだ」「さすが師匠...」  
今度は師匠に「ナナカマド」の実際の食べ方を教えて頂きたい。  
兎に角、良く笑い・よく遊び・よく食べ、私達が忘れてしまった  
ステキな物語が人生がそこにある。手を差しのべ助けられ、いつ  
か又自分も誰かに手を差しのべる、その時に感じた幸せな気持ち  
はいつまでも忘れる事がない。



1区 二丁目の朝日